

(お知らせ)

2003年9月24日



埼玉県川口市本町 4-1-8  
科学技術振興事業団  
電話 048-226-5606(総務部広報室)  
URL: <http://www.jst.go.jp>

## 日本科学未来館 副館長に 美馬のゆり 氏

10月1日就任

科学技術振興事業団(理事長 沖村 憲樹)は、このたび、**日本科学未来館**(館長 毛利衛)の新副館長として、美馬のゆり氏を迎えることを決定しましたのでご連絡いたします。美馬氏は、本年10月1日付で副館長に就任いたします。

日本科学未来館では、当館の社会的使命である最先端科学技術に関する情報発信機能の強化に向け、「科学技術スペシャリストの能力開発と育成」と「国内外の大学との連携」の具体化を加速すべく、かねてより、この実現に寄与できる人材を探してまいりましたが、この度、美馬のゆり氏(公立はこだて未来大学教授)を、これらの業務を統括する新副館長として迎えることを決定しました。

美馬氏は、ハーバード大学大学院、東京大学大学院教育学研究科修了後、平成10年スタンフォード研究所 客員研究員等を経て、平成12年からは、その設立にも関わった公立はこだて未来大学 システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科 教授として教鞭をとるとともに、平成13年には、マサチューセッツ工科大学メディア・ラボラトリー客員研究員として研究活動に従事してきました。

また、文部省の「マルチメディアを活用した学習システム研究開発委員会」委員や、日本科学未来館設立の基本方針と全体計画を策定・監修する「総合監修委員会(吉川弘之 委員長)」委員等、科学技術理解増進分野に係る多くの有識者会合での委員を務めた経験があり、その実践にも数多く携わってきました。

美馬氏の教育・情報の分野における国際的なキャリアと、公立はこだて未来大学での経験は、当館の今後の発展に寄与するものと確信しています。

美馬副館長の就任により日本科学未来館は、毛利館長を中心に充実した指導体制のもと、最先端の科学技術に関する情報発信活動を一層躍進いたします。

<お問い合わせ先>

日本科学未来館 広報担当 榎田(ますだ)

〒135-0064 東京都江東区青海 2-41 TEL: 03-3570-9156 / FAX: 03-3570-9160

## 美馬のゆり副館長プロフィール

氏名: 美馬 のゆり ( みま のゆり )

生年月日: 昭和 35 年 ( 1960 年 ) 9 月 8 日

出身地: 東京都

### 学歴:

- 昭和 5 9 年 3 月 電気通信大学電気通信学部計算機科学科卒業  
6 1 年 6 月 ハーバード大学大学院教育学研究科インタラクティブ・テクノロジー専攻修了  
( Master of Education=教育学修士 )  
平成 3 年 3 月 東京大学大学院教育学研究科 ( 修士課程 ) 学校教育学専攻修了 ( 教育学修士 )  
7 年 3 月 東京大学大学院教育学研究科 ( 博士課程 ) 学校教育学専攻単位取得満期退学

### 職歴:

- 昭和 5 9 年 8 月 日本デジタルイクイップメント ( 株 ) 教育部教育スペシャリスト  
平成 7 年 4 月 川村学園女子大学教育学部情報教育学科専任講師  
1 0 年 1 月 金沢大学教育学部非常勤講師  
4 月 川村学園女子大学教育学部情報教育学科助教授  
8 月 スタンフォード研究所客員研究員 ( ~ 12 月 )  
( Stanford Research Institute, International Center for Technology in Learning )  
9 月 埼玉大学教養学部教養学科助教授 ( ~ 12 年 3 月 )  
1 1 年 4 月 メディア教育開発センター共同研究員 ( ~ 14 年 3 月 )  
1 2 年 4 月 公立はこだて未来大学システム情報科学部情報アーキテクチャ学科教授 ( 現在 )  
1 3 年 8 月 マサチューセッツ工科大学メディア・ラボラトリー客員研究員 ( ~ 14 年 3 月 )

### 活動実績:

- 平成 8 年 1 月 総務庁「第 3 回情報化社会と青少年に関する調査」企画・分析委員  
4 月 函館市「函館公立大学 ( 仮称 ) 開学計画策定専門委員会」委員  
1 0 月 文部省「情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進に関する調査研究協力者会議」委員  
9 年 7 月 科学技術振興事業団「科学技術理解増新事業サイエンス Q&A 広場分科会」委員  
1 0 年 4 月 科学技術振興事業団「サイエンス・チャンネル試験番組編成委員会」委員  
1 2 月 文部省「マルチメディアを活用した学習システム研究開発委員会」委員  
1 1 年 1 0 月 科学技術庁「子供向け科学技術白書編集委員会」委員 ( 第 1 & 2 集担当 )  
1 2 年 3 月 科学技術振興事業団「科学技術理解増進推進拠点 ( 仮称 ) 総合監修委員会」委員  
7 月 科学振興事業団「日米科学技術理解増進専門家会議」委員  
日本科学技術振興財団「博物館閲覧支援システム構築に関する調査研究委員会」委員  
1 4 年 7 月 科学技術振興事業団「日本科学未来館事業検討委員会」委員  
8 月 文部科学省「子供向け科学技術白書編集委員会」委員 ( 第 4 & 5 集担当 ~ 現在 )

添付写真： 1枚 美馬のゆり （10月1日 日本科学未来館 副館長 就任 ）



< 写真お問い合わせ先 >

日本科学未来館 広報担当 西 （y-nishi@miraikan.jst.go.jp）

〒135-0064 東京都江東区青海 2-41 TEL：03-3570-9156 / FAX：03-3570-9160